

人として

筑後市社会福祉協議会 / 広報

筑後市社会福祉協議会
(〒833-0032 筑後市野町680-1)
TEL 52-3969
FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp
URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに...それが社会福祉協議会の目標です。

福祉センターを

誰もが楽しく過ごせる居場所にしよう!



福建労の協力で木工体験



ゆずりっこ(子ども服・用品のお譲り会)



みんなで組み立てた木のジャングルジム



スイーツやコーヒー、雑貨のマルシェ

第40回

ふれあいひろば

筑後市ボランティア連絡協議会では3月16日(土)、福祉センターを子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が気軽に集える憩いの場、安心できる居場所にしていくきっかけとして、ふれあいひろばを開催しました。

当日は家族連れ、障害者施設の方、保育所の子どもたちなど多くの方でにぎわいました。



マウンテンゴリラコンサート



八女工業高校ボランティア部の協力でモール工作

福祉センターって こんなところ

筑後市総合福祉センターは、子どもからお年寄りまで、幅広い方に利用して頂ける施設です。館内には、常時利用できるキッズコーナー、図書、学習スペース、カラオケ、囲碁将棋、売店、飲食スペースもあります。

【閉館日】土・日・祝日、12/29~1/3 【開館時間】8:30~17:00

【住所】筑後市野町680-1 【問合せ】筑後市社会福祉協議会 (TEL/0942-52-3969)

雨が降っても、暑い日も安心!!
広〜い室内で遊んだり、学んだり、語り合ったり

入館料
無料!!



**5月12日～18日は
民生委員・児童委員 活動強化週間**

根気強く、時間をかけて・・・ 人間関係をつくっていききたい

今回インタビューしたのは主任児童委員であり、筑後市民生委員・児童委員協議会の会長としても活動する篠原弘さん。

主任児童委員は、他の民生委員・児童委員と協力しながら、子どもや子育てに関する地域の見守り役、つなぎ役として、子どもたちが安心して豊かに暮らせる地域づくりを目指した活動をしています。



子ども時代、見守られた記憶。あの人のように私も！

私が子どもの頃、近所に「○ちゃん」と皆に呼ばれ慕われる男性がいました。その人は、夫婦げんかの仲裁から地域の子どもたちの世話までして、自宅前の庭では毎日子どもたちを遊ばせていました。私もその人に見守られながら遊んでいたことを覚えています。

今思うと、民生委員という肩書きがなくても地域を見守り、相談役をして、皆に頼られる存在だったのです。その人が今の私の主任児童委員としての目標です。

**「地域で何ができる？」
「気に掛ける」ことはできる！**

最近気になっているのは不登校の子どもたちや、中学卒業後に学校も関係機関も関わらなくなり、寂しい思いをしている子がいないだろうかということ。また保護者も情報が不足し孤立していないかという心配もあります。私たちにできることは限られています。そうした子どもや家庭の存在を知り、見守り、気に掛けていくことはできます。

それがきっかけになり必要な支援に結びつくこともあります。

**大切にしていることは、
「根気強く、時間を掛けて
関係をつくること」**

夏休みに行った校区の活動の際、多動傾向のある子どもさんが参加していました。初めはお母さんがそのことを話されていなかったため、予測できない行動にどう対応していいか戸惑いました。

しかしその後色々な場でその子やお母さんと関わっていく中で、困っていることを少しずつ話してくれるようになりました。「気に掛けている」ということがお母さんに伝わり、心を開いてくれたように感じました。人間関係をつくっていくためには、



夏休みの行事で子どもたちを見守る篠原さん

民生委員児童委員・主任児童委員は 身近な相談役、地域のつなぎ役

- **民生委員**：民生委員法に定められ、厚生労働大臣から委嘱されたボランティア。児童福祉法により「児童委員」も兼ねます。常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行います。
- **主任児童委員**：児童委員活動を強化推進するために設置され、妊婦や乳幼児・児童など子育て家庭に関することを担当。関係機関との連絡調整や児童委員へ援助・協力を行います。

根気強く、時間を掛けていくことが大切なのだと思っています。
**身近に相談できる相手が
いることを知ってほしい**

筑後市内には、79人の民生委員・児童委員、14人の主任児童委員が活動しています（定数）。5月12日は民生委員・児童委員の日、5月12日～18日は活動強化週間です。それに合わせ、市内では集中訪問活動を実施します。この機会に身近な相談者である民生委員・児童委員のことを知って、気軽に相談していただきたいです。

ひきこもり家族相談会

とき 5月16日(木) 13:00~16:00

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

★5月9日(木) 17時までに要予約

(1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

●**問合せ・予約** 筑後市社会福祉協議会
TEL 52-3969 FAX 53-6677

不登校・ひきこもりの方の家族会 サルビアの会に来てみませんか?

同じ立場なら話せる! 分かり合える!

とき 5月4日(土) 14:00~15:30

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

内容 学習会

対象者 不登校やひきこもりの方の家族

問合せ 筑後市社会福祉協議会
TEL 52-3969 FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

CHIKUGO

福祉レクリエーションサークル

参加者募集!



地域の活動や福祉の現場などで役に立つ、レクリエーションの学習や用具の製作、ボランティア同士の講習や情報交換などを行っています。

日程 ※いずれも月曜日の13:30~15:00

① 5月13日 ② 6月 3日 ③ 7月 1日

④ 8月 5日 ⑤ 9月 9日 ⑥10月 7日

⑦11月11日 ⑧12月 2日

令和7年

⑨ 1月27日 ⑩ 2月 3日 ⑪ 3月 3日

会場 筑後市総合福祉センター(野町680-1)
2階研修室(変更になる場合もあります)

参加費 1回100円

問合せ 筑後市社会福祉協議会
TEL 52-3969 FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

令和5年7月豪雨から学ぶ

災害に強い地域 =日頃から会話・対話が多い地域

筑後北校区福社会が広川町へ視察研修

昨年7月の豪雨災害で甚大な被害が発生した広川町。その経験から、私たちのまちでも起こりうる災害へどう備えるべきか学びました。



日頃の地域のつながりが、 有事の際に命をつなぐ

被災した人の中には自分からSOSを出せない高齢者、障害者の家庭もあり、近所の方が心配して相談されることもありました。救えたのは、日頃からつながりがあってその人の暮らしを知っていたからです。

困ったことも、気になったことも、 話す(放す)・話せる(放せる)地域に

心配ごとや気になったことを自分だけで抱え込まず、“放す”ことが大切です。誰かに話せたら、みんなで考えていくことができる。それができる地域にしていきたいものです。

災害支援は、日常の延長線上にある

日頃から会話・対話が多い地域が災害に強い地域です。災害支援を特別なことではなく、日常の延長線上にあると捉え、普段のつながりを大事にしていけたらいいのではないのでしょうか。

精神障害のある人のための
居場所・交流スペース

かたる〜む

★5月の開設日のお知らせ★

とき 5月10・24日(金) 13:30~15:00
★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会
TEL 52-3969 FAX 53-6677
Mail info@chikugo-shakyo.or.jp



社会福祉事業資金寄付

★香典返し寄付の部★

鶴田 カオリ様(故 繁實様) 前津
山口 喜代子様(故 一生様) 上町
近本 英二様(故 澤乃様) 野町
平井 幸子様(故 秀登様) 二本松
田中 好文様
(故 利明様・故 澄子様) 江口
尋木 照生様(故 次代様) 津島東

★ 計 三〇、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部(物品口座)

○塚本義高様(久富) からランドセル、バッグの寄付がありました。
○ユーコーフッキー 37筑後店様(長浜)からお菓子の寄付がありました。
○野田製菓様(八女市) から黒棒の寄付がありました。
○匿名様2件からお米の寄付がありました。
○匿名様から紙オムツの寄付がありました。

【いずれも3月1日～3月31日まで】

子育て世代を食で応援! プロジェクト



市民の皆様から寄付いただいた食品(お米、インスタント食品、乾麺、調味料、フリーズドライスープ類など)を無料配布します。

日程: 5月10日(金) 17:30~18:30

対象: 小中学生の子どもがいる世帯

※数に限りがあります

※1世帯1セットの配布です

※筑後市在住の方に限ります

※ひとり親家庭の方は除きます。偶数月第2週目に実施する「ひとり親家庭のためのフードパントリー」をぜひご利用ください。

会場: 筑後市総合福祉センター

○事前の申込みは不要です。直接お越しください。

問合せ/ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp



設置者 筑後市のふくしのために!
大募集!! 企業の社会貢献、福利厚生にも!

赤い羽根自販機



◆飲み物を購入すると売り上げの一部が赤い羽根募金へ寄付される自販機です。

◆寄せられた募金は、市内の高齢者、子ども、障害者等のくらしを良くするため、様々な活動に役立てられます。

こんなメリットがあります!

- 置いておくだけで身近な地域への社会貢献ができ、企業のイメージアップにつながる
- 設置後、寄付の事務処理は不要
- 最新機種なら電気代、CO2の削減に!

★市内で設置にご協力頂いてい

る企業様等はコチラで紹介! →



申込み・問合せ/ 福岡県共同募金会筑後市支会

TEL 52-3969 Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

事務局通信

近所付き合いが若者は求めている、という印象を持っていましたが、それを变える出来事がありました。先月、住んでいる地域で懇親会を兼ねて花見をしよう、と初めての計画をされました。しかし当日は雨。会場を屋内に変え、役員の方は「若い人はわざわざみんなで食べずに持ち帰るだろう」と、小さな部屋を用意。ところが実際には、多くの方が懇親会への参加を希望したのです。子どもたちは、毎日見守りをしてくれる地域の方にお礼と自己紹介をしたり、仲良く走り回ったり、大人もお互いに交流や情報交換をしたりと、賑やかなひと時になりました。参加者のほとんどはコロナ禍に引越してきた世帯でした。話してみると共通して、「話したいと思っていたけど、ためらっていた」「近所においても顔を合わせるきっかけもなかったの、こうしてつながれて嬉しい」という言葉が聞かれました。人との接触が制限され、当たり前にならなくなることができない経験をしてきました。その中でその大切さを再認識し、地域や人とつながりたいと思っている人も増えたのかもしれない、と感じています。(喜)